

平成 28 年度ニチレイチャレンジ特別泳力検定会報告（香川会場）

期 日	平成 28 年 11 月 3 日(木)
会 場	香川県立総合水泳プール
参加人数	106 名
ゲ ス ト	ロンドンオリンピック銀メダリスト 鈴木聡美選手 シドニー・アテネオリンピック出場 田渕 晋さん
受 検 者	1 級 46 種目・2 級 15 種目・3 級 44 種目・4 級 15 種目・5 級 19 種目
合 格 者	1 級 42 種目・2 級 11 種目・3 級 40 種目・4 級 14 種目・5 級 18 種目
派遣委員	生涯スポーツ委員長 平本武男 生涯スポーツ委員 余田しげみ
報 告 者	ジャパンスイミングスクール 高田敦史

11 月 3 日 文化の日、香川県で初めてのニチレイチャレンジ特別泳力検定を開催させていただきました。

今回の検定は香川県で 4 校のスイミングスクールを運営するジャパンスイミングスクールの主催で当校に在籍する会員様を対象に参加者を募集しました。その結果大人 18 名、中学生 1 名、小学生 87 名、合計 106 名と多くの会員様に参加いただきました。ゲストに地元香川県出身でシドニーオリンピック、アテネオリンピック 2 大会連続出場の田渕 晋さん。そしてロンドンオリンピック銀メダリストの鈴木聡美選手がリオオリンピックを終え、まだまだご多忙の中を参加いただきました。二人のオリンピックをお迎え出来た事でゴージャスでにぎやかな雰囲気の検定を行う事ができました。

特別泳力検定開催につきましては昨年度末より企画を始め、開催時期につきましてはゲストに「是非オリンピックを」との思いからリオオリンピック終了後少し時間を置いた 10 月から 11 月がオリンピックの熱も十分残っており、ゲストで来ていただける選手も少し落ちついて来る時期であろうと判断し最終的に 11 月 3 日の文化の日に決定しました。

この時期、ジャパンスイミングスクールでは選手コースの小学生を対象にジャパンスイミングフェスティバルと銘打った 4 校合同の記録会を毎年行っています。

そこで、この二つのイベントをコラボさせようと思い付き、午前中はジャパンスイミングフェスティバル、午後から泳力検定を行うこととなりました。

その中でゲストのお二人には前日の打ち合わせで初めて、午後から模範泳法、記念撮影、サイン会をお願いし、出来れば午前中はジャパンスイミングフェスティバルに飛び入りサプライズ参戦をしていただきたいことをお伝えしたところ、サプライズ参戦と言う無理なお願いも気持ちよくお引き受けいただき当日を迎えることができました。

そして当日、サプライズ参戦は空きレーンの都合などから鈴木選手が 100m 自由形、田渕さんが 200m 個人メドレーに参戦していただくこととなりましたが、直前に鈴木選手から

200m 個人メドレーも泳ぎますとの申し出があり、急遽ゲスト二人の異色対決が実現いたしました。

現役を引退して 11 年の田淵さん、現役バリバリの鈴木選手、対決の結果は御愛嬌と言う事にしておきます。

午後からは生涯スポーツ委員長の平本様の元気いっばいの挨拶で一気にテンションが上がり、ゲストへのインタビューでは鈴木選手の東京オリンピックまで現役続行宣言も飛び出し会場内はますます活気に満ちてまいりました。そして模範泳法では、引退後 11 年を経過しても衰えることのない田淵さんの美しい泳ぎと、鈴木選手のオリンピックさながらの力強い泳ぎに会場は感嘆の声と拍手に包まれました。その後泳力検定と同時進行でサイン会と記念撮影会を行ったところ終了予定時間まで列が途切れることなくゲストのお二人には大変な思いをさせてしまいましたが、最後まで笑顔で対応していただきました。普段触れ合う事のないオリンピック選手との記念写真やサインは参加者の記憶に深く刻まれたことでしょう

その後泳力検定も滞りなく終了し、合格した参加者は認定書とバッジを手に笑顔で会場を後にしておりました。

この検定を通し、参加者は可能性にチャレンジすることの喜びを実感し、ゲストの素晴らしい泳ぎと人柄に触れる事で、挑戦する勇気を持ち、未来への夢を大きく膨らませることが出来たのではないのでしょうか。

今回、香川県では初めての特別泳力検定でありましたが今後機会がありましたらぜひまた開催させていただきたいと思っております。

最後にご支援いただいた日本水泳連盟、香川県水泳協会、そして拙い運営を最後まで支えていただいた生涯スポーツ委員会の平本様、余田様、皆様に厚く御礼申し上げ報告とさせていただきます。